

地域日本語教育の“あるある”シミュレーションゲーム



ア ナ ド ウ

『ANADO～あなたならどうする?～』



公益財団法人 北九州国際交流協会

©2013-2021 KITAKYUSHU INTERNATIONAL ASSOCIATION All Rights Reserved

ア ナ ド ウ ANADOとは？

「^{ア ナ ド ウ}ANADO」は、地域日本語教育の現場で起こりうる困難や葛藤などについて、他のプレイヤーと意見交換をしながら、課題解決のプロセスを体験することを目的としたシミュレーションゲームです。

ゲームは、中央に積まれた「質問カード」と、事前にプレイヤーに配られた「回答カード（A/B各1枚）」を用いて、3～6名で行います。「質問カード」の「あな(ANA)たならどう(DO)する？」の問いに対し、参加者が「回答カード」を一斉に出し、参加者同士が意見交換を行いながらゲームを進めていきます。

このゲームに出てくるストーリーはすべてフィクションです。ストーリー作成にあたっては、北九州で活動されている地域日本語教育関係者および、文化庁「地域日本語教育コーディネーター研修」修了者を始め、お世話になっている全国の実践者の話を参考にさせていただきました。ご協力いただいたみなさまに心より御礼申し上げます。

対 象

- ・地域日本語教室のボランティア・スタッフ
- ・行政や国際交流協会の地域日本語教育担当職員
- ・地域日本語教育コーディネーター・総括コーディネーター
- ・地域日本語教育に関わっている/関心のある方

目 的

1. 地域日本語教室やその関係者に起こりうる事例を通して、自分が関わっている教室や自分自身の言動を客観的にふりかえるきっかけとする。
2. 日本語教育の経験年数、資格の有無、立場、所属、価値観などにとらわれず、参加者同士で共感したり、意見を言ったりしやすい場をつくる。
3. 同じ課題でも、解決方法にひとつの正解があるわけではなく、環境や条件によって、それぞれ違った工夫や解決のしかたがあることに気づく。
4. 困難や葛藤などの課題に向き合い、他の参加者と解決方法を考えていくことによってよりよい地域日本語教育のかたちを発見する。

ゲームに使うもの



- ・ ANADO 「質問カード」
3～6名のグループに1セット

【ゲームに入っているもの】

事例付き質問カード 30枚（うち空欄3枚）

A・Bカード各6枚 解説書（本書）



- ・ ANADO 「回答カード」
プレイヤー1人に「A」「B」各1枚ずつ

ゲームの準備



山札：「質問カード」は、プレイヤーの中央に、書かれている文が見えないように重ねて置く。

手札：「回答カード」は、A/B各1枚ずつプレイヤーに配る。

1. グループが複数ある場合は、各グループに ANADO カードが1セットずつ必要です。
また、各グループをまとめる全体のファシリテーター役を置き、全体の進行のバランスやふりかえりを行うことをお勧めします。
2. 話し合いの効果およびゲーム性を高めるために、1つの質問に対し話し合いの時間は5～10分程度を想定しています。長くなる場合は、全体のファシリテーター役または、グループの中の親が「時間オーバー」の合図をして、次のゲームに移ってください。

始める前の注意

- ※プレイヤーは、必ず A か B どちらかの「回答カード」を出すこと。
- ※話し合いの途中で、自分の「回答カード」を変えても OK。
- ※できるだけみんなが発言できるように、協力すること。
- ※人の意見を否定したり、批判したりしないこと。
- ※ひとつの答え・結論を出そうとせず、楽しむこと。

あそび方

1. 親を決めます。
2. 親は、1番上の「質問カード」を読み上げて、他のプレイヤーから見えるように置きます。
3. プレイヤーは（親も含めて）、質問の「あなたならどうする？」という問いの答えを考えて、「回答カード」（AまたはB）を手に取ります。
※自分の答えがA/Bいずれでもない場合でも、「まずAを試みるが、ダメだったらBにかえる」「〇〇という条件だったらA」など、必ずどちらかを選んでください。
4. 親は、全員（親自身も含めて）が「回答カード」を手を持ったことを確認し、「せーの」と合図をします。
5. プレイヤーは、一斉に「回答カード」（AまたはB）を見せます。
6. 「なぜA/Bを選んだのか」「なぜそのように考えたのか」など、プレイヤー同士で自由に話し合います。親は、話し合いがうまく進むように、進行役をします。
7. 話し合いの中で、気持ちが変わったプレイヤーは、手持ちの「回答カード」（AまたはB）を変えることもできます。時間があれば「A/B以外にどんな方法があるか」などを話します。
8. 親は、意見をまとめる必要はありません。プレイヤー全員が発言したことを確認したら、左隣の人に親を交代します。
9. 次の「質問カード」で2～8を繰り返します。



ゲーム参加者の感想

「まるでわたしたちの教室を見て書いたんじゃないか」という問いがあって、びっくりしました。（日本語教室ボランティア）

ゲームをしているうちに、地域日本語教育コーディネーターの役割について、分かってきた気がします。（日本語コーディネーター）

「あるある！」というものばかりで、ゲームをしながら参加者同士で話をすることでストレス解消になりました。プライベートでもしたいです。（日本語教育担当者）

目の前のボランティアさんに対しては言いにくいことも、ゲームを通して間接的に伝えられるのでいいなと思いました。（日本語コーディネーター）

日本語教育も日本語教室もあまり経験がないけど、日本語教育とは違うところでもありうる設定もあり、ゲーム自体が楽しいので参加しやすかったです。（未経験者）

AかBかという2択では選べないものもありました。ただ、他の参加者とそんな本音を話し、一緒に新たな解決案のCを作ったりするのは達成感がありました。今日のメンバーで活動してみたいです。（日本語教室ボランティア、日本語教育関係者）

行政、コーディネーター、学習者、ボランティア、教室代表者と様々な立場に立って考えることができるのがよかったです。（日本語教育担当者）

最初は絶対にAだと思っていたけど、他の参加者の話を聞いているうちにBの方がいいなと思えました。普段の活動ではじっくり他のボランティアの意見を聞くことはないので、とてもいい機会でした。（日本語教室ボランティア）

ANADO 作成チームのコメント

このゲームを作成・試行している過程で、全国のコーディネーター、ボランティア、行政職員など実践者のみなさんが同じような課題や悩みを抱えていることに気づきました。遠く離れた地域の実践者がつながり、共感し、ともによい取り組みを進めていくためにもANADOを活用していただけるとうれしいです。（総括コーディネーター）

テーマ一覧

1	新人ボランティア	元日本語教師のあなた。夫の転勤のため、10年勤めた日本語学校を辞めてしまったので、日本語教室でボランティアを始めることにしました。しばらくベテランのボランティア秋田さんの授業を見学するように言われたのですが…
2	教室代表者	日本語教師養成講座の同級生8人と教室を立ち上げたあなた。3年後、当時のメンバーは、家庭の都合などで活動を続けられなくなってしまいました。今は、学生ボランティアがたくさんいるので活動はできるのですが、学生は…
3	外国人学習者	JLPTのN1に合格しているあなた。文法は得意なのですが、人見知りなこともあって会話が非常に苦手です。そのコンプレックスを克服したいと思い、日本語教室へ参加することにしましたが…
4	県の職員	県の地域支援課で働いているあなた。県内に外国人就労者が急増した地域があり、日本語教室をつくりたいという地域住民の支援をすることになりました。しかし…
5	ボランティア	親子で参加できる日本語教室にボランティアとして参加しているあなた。ボランティアは、だれも日本語教育を勉強したことはないのですが、みんなで子育ての話をしたり、子ども同士を遊ばせているうちに学習者は少しずつ…
6	ボランティア	語学が堪能なあなた。ボランティアとして活動している日本語教室で、学習者のマリクさんから「保証人になってほしい」と言われて困っています。あなたは、たとえ自分の親友でも保証人にはならないと決めているので…
7	学習者の家族	留学先で出会った彼女と結婚したばかりのあなた。妻は来日前に、家庭教師から日本語を習っていたので、日本でもそのテキストの続きをしたいと、地域の日本語教室に行きました。すると…
8	行政職員	市の公共施設の責任者を務めているあなた。「日本語教室のチラシを棚においてほしい」と頼まれた窓口職員から相談を受けました。施設では、新型コロナウイルス感染拡大以降、スペースを確保するためにチラシ棚の数を…
9	国際交流協会職員	今年初めて日本語ボランティア養成講座の担当になったあなた。養成講座の最終日に、意欲的な受講者たちから「日本語教室を作りたいので協力してほしい」と相談されました。養成講座の成果があったと喜んでいたのですが…
10	ボランティア	日本語教室で創設当時からボランティアをしているあなた。開設当時は、学習者のほとんどが留学生や外国出身の主婦で、日本語でおしゃべりをしたり、パーティーをしたりするのが日本語教室の活動の中心でした。ところが…
11	ボランティア	国際交流協会に日本語ボランティアとして登録しているあなた。活動日に、学習者のハンさんから「先生、この手紙、何が書いてありますか」と1通の封筒を渡されました。読むと、差出人は裁判所で…
12	外国人学習者	来日して15年目になるあなた。今では日本語に困ることはなくなり、また、時間にも余裕ができたので、近所の日本語教室にボランティアとして参加したいと思いました。見学に行ったところ、その教室では、マンツーマンで…
13	教室代表者	日本語教室の代表をしているあなた。先日、市内の企業から連絡があり、「うちの会社の外国人社員に日本語を教えてくれる方を探しています。時間は始業前の朝6時半から8時まで。教室のボランティアさんを紹介して…
14	教室代表者	今年から日本語教室の代表を務めることになったあなた。メンバーはみんないい人ですが、なんだかまとまりに欠けています。メンバー同士の情報共有ができていないことが課題だと感じたあなたは…

15	教室代表者	日本語教室の代表者が引越すことになり、来年度から代表になる予定のあなた。会計、会場予約、連絡などの役割を引き受けてくれる人がいないため、毎年同じ人に負担がかかっています。そこで、あなたは・・・
16	ボランティア	夫の転勤のため海外で3年間生活した経験のあるあなた。海外ではたくさんの人にお世話になったので、今度は日本に住んでいる外国人の方のお手伝いをしたいと思い、日本語教室でボランティアを始めることに・・・
17	教室代表者	日本語教室で代表を務めているあなた。活動費は、会場費や教材代などで常に赤字です。ボランティアからの会費収入でこれまでなんとか続けてきましたが、学習者の参加費を上げるわけにもいかず、どうすればよいか悩んで・・・
18	国際交流協会 コーディネーター	国際交流協会で、日本語教室のボランティアと学習者の担当をしているあなた。ある日、学習者から、「日本語教室をやめたい」という電話がありました。通訳を介して事情を聴くと、「先週の日本語教室の時に・・・
19	ボランティア	2か月前に、日本語教室のボランティア活動を始めたあなた。ここに引越してくるまでは、他県で日本語教室のボランティアをしていたので、活動自体にはすぐに慣れましたが、この教室の代表者である吉田さんが・・・
20	外国人学習者	南米出身のあなた。来日前に、日本語の勉強はしたのですが、実際に日本人と会話をする機会がほとんどないので、近所の日本語教室に通い始めました。しかし、スペイン好きなボランティアの広田さんは、あなたにいつも・・・
21	外国人学習者	アルバイトをするために、丁寧な日本語が使えるようになりたいと思い、日本語教室に通い始めたあなた。その教室は、マンツーマンの対話形式で行われているのですが、ペアを組むボランティアが毎回違うため、いつも・・・
22	ボランティア	誰でも気軽に参加できる日本語教室を目指して活動しているあなた。学習者が、乳幼児を連れてきた場合は、手が空いているボランティアが託児をしています。しかし、ボランティアより学習者が多い日や、乳幼児の数が・・・
23	学生ボランティア	日本語教室でボランティアをしている大学生のあなた。あなた以外のボランティアはおじいちゃん・おばあちゃん世代の方で、あなたをとてかわいがってくれています。学習者の多くは留学生や技能実習生で、目上の人に・・・
24	教室代表者	日本語教室で代表をして15年目のあなた。立ち上げ当初からずっと一緒に活動しているボランティア仲間は、日本語教育の資格はありませんが、熱心なサポートが喜ばれて、学習者が毎年増える一方です。ところが・・・
25	市役所職員	市役所の地域振興課で勤務しているあなた。外国人住民の急増に伴い、この市で初めての日本語教室を開設することになりました。一緒に担当する係長は、仕事が早く、人脈もあってとても頼りにしているのですが・・・
26	ボランティア	日本語教室でボランティアをしているあなた。新型コロナウイルス感染拡大のため、日本語教室がこれまでのようにはできなくなりました。そこで、オンラインでの教室活動を提案したところ「パソコンもスマホも持ってない・・・
27	国際交流協会 コーディネーター	県の国際交流協会で日本語教育コーディネーターをしているあなた。大学の先生や、日本語ボランティア教室の代表者など、地域日本語教育関係者が集まって、県内の地域日本語教育の課題や今後の計画などについて・・・
28	自由記入欄	自由記入欄
29	自由記入欄	自由記入欄
30	自由記入欄	自由記入欄



『ANADO (改訂版)』は R2 文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用し、北九州国際交流協会が作成したものです。営利目的で再利用することを禁止します。

ANADO を用いたワークショップについてのご相談、講師派遣も行っています。
北九州国際交流協会までお気軽にお問い合わせください。

発行日 2013 年 11 月

改訂版発行日 2021 年 3 月

編集・発行 公益財団法人 北九州国際交流協会

作成：ANADO 作成チーム（北九州国際交流協会）

企画：小野美穂 矢野花織

改訂：小野美穂 矢野花織 マクドナルド晶子 黒田知美

協力：神吉宇一（武蔵野大学准教授／日本語教育学会副会長）

公益財団法人 北九州国際交流協会

福岡県北九州市八幡西区黒崎 3 丁目 15-3 コムシティ 3 階

TEL 093-643-5931 FAX 093-643-6466 E-mail kia@kitaq-koryu.jp